

【施策評価調査】

施策名	6-3-2	公聴活動		133	政策を推進するには、 情報の発信：住民にとって、知りたいことが“わかる！” 情報の受信：住民にとって、言いたいことが“言える！” 情報の資源化：集めた情報が、資源に“変わる！”...という3点からのアプローチが必要だと考えます。 当施策は、この観点から住民とのコミュニケーションを活性化するために実施します。
	高根沢町地域経営計画2006 該当ページ				
担当部課	総務企画部 秘書広報課	担当 リーダー	広報公聴担当 小池 哲也		
環境変化	町で条例等を策定する際には、住民からのご意見・ご要望を聞く「パブリックコメント制度」を運用しています。また、「まちづくり基本条例」の検討委員や「行財政改革委員会」の委員などを公募により選任しています。 町政懇談会やご意見板など、住民の声を受け入れる仕組みを充実させます。				住民のみなさんが行政に対して意見や提案を述べやすい公聴活動の実現に向けて、既存の活動を再構築しながら、住民のみなさんの声を迅速に受け止める仕組みを整えます。 また広報誌においても、住民のみなさんからのご意見やご提案などを幅広く集める手段として十分に活用し、施策展開にも反映できるような仕組みを検討していきます。（「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋）

指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：年間意見件数(件) 「ご意見板」・公聴システム	H16年度実績(年間件数)	計画	30件	40件	50件	120件	180件
		実績	19件	28人	43件		
指標：		計画					
		実績					
指標：		計画					
		実績					
指標に関する特記事項	指標は、ホームページ上からのご意見板及び担当課メールによる町民の方からの要望・ご意見等をいただき、要望等への回答を行っています。						

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	9,000	114,000	0	0	
	決算	0	0	0		

事務事業事前評価 22年度の組立て

施策傘下事務事業	事業費	活動指標(アウトプット)	事業の実施によって、施策達成にどう貢献しますか？(アウトカム)		
あなたが主役のまちづくり懇談会	H21 現計	0	町の施策・事業、地域の課題や要望などについて、サービスを受ける側とサービスを実施する側が話し合い、情報を共有することによって、より受けたいサービスの提供につながります。 また、建設的な意見・提案を町政運営に生かしていきます。		
	H22 計画	0		3件	今後の方向性 (総合評価)
	H21 現計			今後の方向性 (総合評価)	
	H22 計画			今後の方向性 (総合評価)	
	H21 現計			今後の方向性 (総合評価)	
	H22 計画			今後の方向性 (総合評価)	
	H21 現計			今後の方向性 (総合評価)	
	H22 計画			今後の方向性 (総合評価)	

施策事前評価 22年度の組立て

自己評価	後期計画に向けた施策展開のビジョン		H22年度の狙い
	今後の方向性 現状水準維持	「あなたが主役のまちづくり懇談会」は、まだ認知度が低いので、住民が集まる場や広報等での周知・浸透に努め、意見等の集約を図っていきます。公聴システムについては、既存のシステムを利用しながら、住民の意見や提案などを施策展開に反映できるような仕組みを検討し進めていきます。	
総合評価	各部課で行っている公聴活動(検討委員会、モニター制度等)と今後どうすり合わせしていくのか、また、受けた意見・提案をどう共有させるのか、また各施策等に反映させていくのか、後期計画に向け公聴活動のあり方、仕組みを検討すること。		